

プレスリリース

報道機関各位

---

## 横浜 YMCA ウクライナワークショップ ～ウクライナ人のユースが「モタンカ人形づくり」～ アフタースクールの子どもたちとともに

---

横浜 YMCA では、ウクライナの支援活動に継続して取り組んでいます。6月24日には、アフタースクールの子どもたち(学童クラブ)を対象に「ウクライナワークショップ」を開催します。

このワークショップは、ウクライナから避難し横浜市で生活している、ウクライナ人の大学生・ユース(YMCA では35歳までをユースとしています)が、連日報道されるウクライナの映像のように軍事侵攻による悲惨な側面だけでなく、「美しいウクライナの景色や文化を知ってもらいたい」と企画しました。当日は、ウクライナの文化や観光地の紹介とウクライナの伝統的なお守り人形「モタンカ人形」を作ります。ウクライナの小学校では、針を使わず、布に糸を巻き付けて作る「モタンカ人形」の作り方を習う時間もあり、人形の材料は、母親や祖母の着ていた民族衣装のはぎれで作ることもあるそうです。今回のワークショップでは、ウクライナの文化や観光地、「モタンカ人形」の紹介とアフタースクールの子どもたちと一緒に人形づくりにチャレンジします。

### ▼ウクライナの人びとの安心した暮らしをサポート

横浜 YMCA では、ウクライナの人びとがコミュニティーで安心して暮らしていけるよう、地域の方々とのかけはしとなるような支援を目指しています。

ウクライナでは子どもたちやユースは学校に通い、習い事などをするという日常がありました。子ども・ユースが、避難することがなければ続けることができた学びや体験の機会を提供しています。

横浜 YMCA では、横浜市と連携して取り組む「オール横浜支援パッケージ」により、避難しているウクライナの人びとと面談し、今の生活や今後の希望についてヒアリングを行っています。避難生活により緊張状態にあり、将来への不安を抱えている中でも、日本での安定した生活を希望しています。横浜 YMCA では、社会福祉法人賛育会からの出向スタッフと、自分自身も避難し、

現在横浜 YMCA 学院専門学校で日本語を学ぶウクライナ人のユース(ワークショップ企画者)と協力し、母国語で思いを話せる環境を作り、支援につなげています。

## ▼ウクライナ支援募金を呼びかけています

2月24日からのウクライナ侵攻直後から、ウクライナ YMCA では爆撃地から逃れる人びとのための宿泊・食料・衣料品・衛生用品の提供を開始し、子どもや若者の心理的・社会的支援を行っています。YMCA のグローバルなネットワークを活かし、ウクライナから日本へ避難する支援や周辺地域での支援活動が行われています。この活動のため、横浜 YMCA では、世界・日本の YMCA とともに「YMCA stands for peace; YMCA works for peace YMCA は平和を希求し、平和のために働く」を掲げ、ウクライナ YMCA 緊急支援募金（2022年3月4日～4月30日）を行い、4,780,607 円の募金が寄せられました。

5月から8月31日までを第2次募金期間として「ウクライナ支援募金」の呼びかけを行っています。第2次募金の使途は、①日本へ避難されているウクライナの方々の日本国内での生活の支援、教育機会の提供、コミュニティづくりの支援のため ②日本への避難を希望するウクライナの方とご家族等の呼び寄せを希望される方に、出国から来日と来日後のトータルなサポートとケアのために ③現地 YMCA が本国及びウクライナから近隣諸国で避難生活をしている方の支援のため に募金を呼びかけています。

## 横浜 YMCA ウクライナワークショップ ～ウクライナ人のユースがモタンカ人形づくり～ 開催要項

実施日 2022年6月24日(金) 午後4時～5時  
会場 横浜中央 YMCA アフタースクール 横浜市中区常盤町1-7  
スケジュール ウクライナの紹介 10分  
モタンカ人形の紹介 5分  
モタンカ人形作り 40分  
※スケジュールは子どもたちの状況により多少前後します。

---

この件のお問い合わせ、取材のご依頼は、

横浜 YMCA	開発	ウクライナ支援担当	石川	Tel 045-662-3721
横浜 YMCA	国際・地域		柳原	Tel 045-662-3721
横浜 YMCA	広報		池田	Tel 045-662-3721